

まちづくり懇談会を開催しました

町民の皆さんの意見や提案を町政運営に反映させるため、「まちづくり懇談会」を開催しました。今年度はテーマを4つに分けて開催し、計4回延べ46名の方が参加しました。町長・町執行部と参加者が直接話し合い、地域が抱える課題だけでなく、安心安全なまちづくりや町の将来について、課題解決に向けた提案や、どうすれば地域を活性化できるか等、活発な意見交換が行われました。懇談会でいただいた主な意見や提案をお知らせします。



10月1日(月) 福祉について語ろう

問 大同保育園と高久保育園の統合及び民営化が決定し進んでいる。昨年説明会があつて参加したが、反対意見を言えるような雰囲気ではなかった。今年度、大同保育園の保護者会でアンケートを取ったところ、賛成10、反対18という結果だった。反対意見が多い中で、町はこのまま統合と民営化を進めていくのか。可能ならば一度計画を停止させ、もう一度話し合いの場を設けてほしい。

町長 統合及び民営化は決定しているもので、今後も計画通り進める予定となっています。反対の意見について把握していませんので、保護者が不安を抱えていることをしっかりと受け止

め、ていねいに説明を続けていくことをお約束します。地域の課題の解決に向けて一緒に協議させていただきます。

問 近所にも家にこもりがちな高齢者が多くいるが、地域に老人会がなく、どこに意見をあげればいいのか分からず不安である。こうした意見交換会をもっと分散させたり、日常的に開催することはできないか。老老介護の現状を知りながら、それを相談する場が分からない。

保健福祉課長 地域の見守り体制は、民生委員の協力を得ながら高齢者世帯を対象に毎年高齢者調査として訪問を行っており、見守りが必要な方は定期的に訪問しています。地区社会福祉協議会においても小地域福祉計画を策定し、地域の見守り体制の充実や生きがいづくりを促進するため「ふれあいルーム」の開催、ひとり暮らし高齢者の訪問を行っております。町保健福祉課と地域包括支援センターでは高齢者支援、相談業務を行っておりますので相談してください。

10月2日(火) 経済について語ろう

問 デスティネーションキャンペーンに伴い、地域で商品開発を

行いJ.R、観光協会とともに商品販売を行った。また農家民泊に合わせ首都圏の中学生の田植え体験も行い、これにより地域にお金が落とされる結果となった。またなにか商品開発をしたかと考えている。今後も地域と観光協会、商工会、町等とともに定期的な会合などを持ち、共通認識の中で誘客を図っていくことはできないだろうか。

町長 ご提案いただいたように、町が音頭をとり、地域と一緒に積極的に取り組みを進めていきたいと思えます。

町商工会 経済四団体では、旧美野沢小学校近辺で食用バラの栽培ができないか研究を進めているところで、ブランド化し町内のホテルやレストランに出荷できればと考えています。今後地域と連携を図っていきます。

問 那須高原サービスイリアにスマートインターチェンジができる際、工場誘致の話があつたが、その後どうなったか。

副町長 製造業の工場等を誘致する際は水の確保が非常に重要でこれがネックになっています。製造業が難しいとしても、研究機関なら無理ではないと考え、話を進めたいと考えています。

町長 県の東京事務所、大阪事務所を通じてトップセールスを行